



Lend a Hand
手を貸そう

国際ロータリー第2620地区

Weekly Report

御殿場ロータリークラブ週報

第1846回
例会プログラム
2004.6.3
No.47



例会場 / 東山荘・記念館

開会点鐘 / 12:30

国歌斉唱

ロータリーソング / 我等の生業

内容 / クラブ創立記念に因んで&オーストラリア事情
勝間田芳麿君

会員慶事

誕生日

6月 5日 嶋田泉太郎君

6月 9日 勝間田豪亮君

夫人誕生日

6月 6日 勝又 英男君ご夫人 哲 子様

連続出席

5月27日 石田 恩君 (5年間)

6月 1日 岩田英治君 (37年間)

6月 1日 菅沼 久君 (37年間)

6月 1日 高柳雄輔君 (32年間)



会長 水口 正宏

先週に続いて、最近読んだ本の中から佐藤一斉(1772~1859)の『重職心得箇条』(平凡社新書)

を紹介してみたいと思います。「重職」というのは今の言葉で言えば、トップマネジメントを行なう人という意味で、岐阜・岩村藩の家老職の生まれで、幕府の儒官であった一斉が、17条からなる心得を現代語訳したものです。少し前の「米百俵」の時と同じく、小泉首相の話から話題になった本です。

「第1条 / 重職は(以下略)それに相応しい威厳が必要である。2 / 自分の好みでない部下をこそ使え。3 / 時に応じて改めるべきを改めよ。4 / 前例や規則に囚われてはいけない。5 / チャンスを逃してはならない。6 / 渦中に飲み込まれてはならない。7 / 無理強いや押し付けをしてはならない。8 / 忙しいと言ってはならない。

9 / 託された重大な権限は自ら執行せよ。10 / 目先のことに囚われてはならない。11 / 広く大きな心を持て。12 / 他人の意見にも謙虚に耳を傾けよ。13 / 部下同士の調和に心を配れ。14 / 仕事に手を掛け過ぎてはいけない。15 / 表裏があってはいけない。16 / 公開すべき情報は公開せよ。17 / 部下の気持ちを明るく保たなければならない。」

当たり前とも思える心得ばかりとはいえ、この内の一つか二つは直ぐにわが身にも思い当たるし、往々にして忘れてしまうことでもある。その当たり前がいざという時の難関突破の箴言(しんげん)ともなる。心得とはそういうものでしょう。

一斉には、『三学戒』という言葉もあって、「少(わか)くして学べば則ち壮にして為すこと有り。壮にして学べば則ち老いて衰えず。老にして学べば則ち死して朽ちず。」というのがそれです。

この『重職心得箇条』がビジネスマンやマネジメントの心髄などと言われ、結構受けていると新聞に出ていました。

さらりとした
ロータリーライフを

次回6月10日の例会

1847回 12:30点鐘 東山荘・記念館

若手国家公務員の1人として思うこと

(財)ベターリビング・企画課長 勝又 賢人(まさと)様



かつての建設省に技術系・一種採用で入省して、国家公務員として7年2ヶ月を経験して思うこと。

1. 公務員の仕事における文化

(1) 企画立案

企画立案は若い時から比較的自由にできる。入省して3・4年の係長が法令の告示の原案や補助金の配分の原案を作成したりしている。これはラインでの仕事と言われ、直属の上司の数は意外に少なく2・3人なので、上下での意思決定は速い。

(2) 関係者との調整

住宅局内の他課との調整は、人間関係もできているし仕事の理解度は速いが、国土交通省内の他局との調整や他省庁との調整には気を遣う。お願いをする場合やお金に関係する場合、相手の権限に踏み込む場合は特にである。法令に関係する案件は、「法令協議」として各省庁間で厳密な手続きを経るし、案件によっては財務省、産業界、国会議員との調整が必要になる。

(3) 上司への説明

組織において上司に如何にして情報を伝えるかは重要である。常に意識しなければならないことは、伝えるべきか否か、伝えるタイミング、端的かつ正確な説明の3点である。は訓練で上達できるが、は判断が難しく最も大切である。

2. やりがいを感じること

(1) 仕事の大きさ

法令や補助金関係の仕事は当然のこと、その他の様々な仕事も、全国に大なり小なりの影響を与える仕事である。また、仕事を進めるに際し、普通では会えないような各界の第一人者と呼ばれている方々とも話ができる。

(2) 難しい要求への対応

例えば、産廃処理場や第2東名建設など、行政に対する国民の要求レベルは益々多様化・複雑化している。そのような要求に応えていくことは難しく、どう解決したらよいか判らないようなことも多いが、それだけにやり甲斐のある仕事である。

(3) 多種多様な知識の吸収

仕事の内容が多岐に亘るので、非常に多くの知識・情報を身に付ける機会が与えられる。

3. 思うこと

(1) 影響力と外部の人間との接し方

かつて、国家公務員は情報を独占することで、権力や影響力を持っていた。それが、「天下り」というシステムを支えていた。これから益々情報や手続きの公開性・透明化が図られると、今までと同じやり方では駄目だし、有効ではない。

(2) 将来への不安

国家公務員としての勤務期間は、概ね25年～30年である。非常に特殊な世界であり、退職後の再就職ではどのような業界で力が発揮できるか問題である。

5月27日の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
62名	59名	55名	93.22%	100%

欠席者(4名)

井口修一君・勝又 洋君・斉藤 衛君・鈴木崇司君

やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

メーキャップ 勝間田豪亮君 4月29日 米 山
(6名) 望月 茂君 5月 5日 G R A
大森清治君 5月14日 沼 津
斉藤 衛君 5月14日 裾 野
根上眞一君 5月19日 G R A
長田吉弘君 5月19日 G R A



5月27日のスマイル

初めてお邪魔致します。県境を越えて、神奈川から参りました。
山田 純一様
久し振りに、皆さんの元気な姿を拝見して喜んでます。
勝間田芳磨君
本日は長男が卓話をするということで、お世話になります。
勝又 重春君

その他

勝又 洋君と望月 茂君の2名が
ポールハリスフェローになりました。

第2620地区

御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日
例会場・事務局/YMCA東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長/水口 正宏
幹 事/梶原 一正
会報委員長/勝又 誠

